

Nippak - Shimbun

30 de Janeiro de 1925 N.407

日伯新聞

伯國 壽市
エーネストデカットロ街十八番
郵局 三七五
半ヶ年 拾三ミル
本紙定價

●伯國大使館書記官

通商局農課長赤松祐之氏は伯國大使館二等書記官に任命される

郎男が推され、あらう

る筈であるが、紹長には阪谷芳

の候復を圖して爲に銅輸出商

の大合同を企畫中のもの

と云ふ所がなればならぬ、世の中

の事は多く皮肉に終始するもの

で、役負けのする人物が居て常

つて居る時に限つて問題が發生

するものである、殊に目下の如

く日本移民に就いて賛否兩様の

意見があり、其れに關聯して印

つた對外交渉が起る時に、聖市

總領事館へ如何なる人物を据え

ておかねばならぬかは更めて云ふ迄も、いかんが爲めに云ふ所から、あれ

バウロに置くこととなつた、

春日の舉市に代理たる之れで二

度目である、舞台顔の堂々とし

て神出しの立派なる所、風采

の上からのみ云へば總領事とし

ての質は十分である、初対面

の外人などは異口同音に『今度

の領事は立派だ』と買被つて仕

舞ふ、これで人物手腕がなつて

し、少しも差支ない筈である、

其點になると向大分距離が

ある、既に四年某と云ふもの春

日の人物手腕は一通り試験済み

であつて一般在留民の採點は出

來上つて居る、素より今度は新

田敏郎や齋藤和の様な人間離し

るが、自身も必ずや手腕の卓越を以て

自任する様な大それた考は持つてゐ

るべし、代理として聖市の

難局に座ることを恐懼してゐるこ

と信する、それこそ自己を

識るものと云ふ可きである

吾人は春日を總領事に引直す

ことは素より贅出出来ないが、

代理たるは仕方がないと思つて

おる、只然しながら代理期間が

久しうに亘る様のことをつてな

い、後任總領事は減る可く速

かに任命し數年來ダレにダレた

ては聖市總領事館の威容を整へ

●平田内大臣辭職

▲母國近情▼

齋藤總領事一去以後型の如く

總領事代理として春日領事をサ

ンバウロに置くこととなつた、

春日の舉市に代理たる之れで二

度目である、舞台顔の堂々とし

て神出しの立派なる所、風采

の上からのみ云へば總領事とし

ての質は十分である、初対面

の外人などは異口同音に『今度

の領事は立派だ』と買被つて仕

舞ふ、これで人物手腕がなつて

し、少しも差支ない筈である、

其點になると向大分距離が

ある、既に四年某と云ふもの春

日の人物手腕は一通り試験済み

であつて一般在留民の採點は出

來上つて居る、素より今度は新

田敏郎や齋藤和の様な人間離し

るが、自身も必ずや手腕の卓越を以て

自任する様な大それた考は持つてゐ

るべし、代理として聖市の

難局に座ることを恐懼してゐるこ

と信する、それこそ自己を

識るものと云ふ可きである

吾人は春日を總領事に引直す

ことは素より贅出出来ないが、

代理たるは仕方がないと思つて

おる、只然しながら代理期間が

久しうに亘る様のことをつてな

い、後任總領事は減る可く速

かに任命し數年來ダレにダレた

ては聖市總領事館の威容を整へ

●平田内大臣辭職

▲母國近情▼

齋藤總領事は野暮だが春日さんは話せる

前か賀藩主利爲候は近衛公爵

の媒酌にて酒井爵家令娘菊子

娘この婚約は成立し今春を以て

帝國大學々生多數慶祝を見ゆ

るが、其間一般在留民から

田敏郎や齋藤和の様な人間離し

(四) 第四百七十九號

いざや首途に

さや首途に

として兎も角も初回の收穫を見かは勢ひその土産の金持である
がラード線　今まで數年を要する咖啡栽培の外人に頼らねばならぬ。世の仲見たまよ
(一) 六田五九郎　　(二) バウリスタ線をサンカーロ
スで支線に乗り換えてベロンボニトまでゆく、此所を起點として黄塵の中を狭い軌道に蜿蜒する傾向があつて殊に昨年天上知らずと迄見え、棉價の暴騰にアテられ本年は醉だれのオツカナイものなしと司格二公ら徳兵衛ら輪に輪をかけて一律に棉作に熱中した、棉價が植付當年の半分以下に暴落した昨今それが棉から超然たり得る者果して幾人を數え難く、本線と別にタバチングより見惑ふばかり生ひ茂つた雑草へ得るや。

が世に活くるには自転公轉の自然の理の國外に外れるることは出来ない、その自転公轉の公倍率に調和する一點がスタートのポイントである。そこでそこへ突き立つ時こそ「いざや門出に」と叫んでおり感興なのだ、そこには黙々と廻る起日の前の風車の廻轉の姿、お鷺の飛び立つ姿、純眞な青年精神の姿がなくてはならない。

△これまで初の心境を引きずつて、風車の廻轉は今やカロツサの車輪の廻轉と自動車の轍の廻轉と全く調和して來る、野も森も空の人も馬も牛も天地間の凡てが調和した姿に見えて來た、△これ等凡てのリーダーに廻轉する風車の姿は調和のポイントともよい、又は布教に出立つ宗教家、世に問う哲人の出陣であつてもよい、或は又新らしい教義の鍵を抛つて雪の曠野へ旅立つ怪僧の首途であつてもよい、駿馬場に臨む荒武者の首途であつてもよい、競馬場の出發點に足を揃へた騎者のスタートであつてもよい、又は布教に出立つ宗教家の首途であつてもよい、或は又華やかな夜會に臨む紳士淑女の門出であつてもよく或は若青や男女の戀愛のまた新郎新婦の新婚旅行の首途であつてもよい、

廣 告	
奉籍地	廣島縣吳市藏本通十一 町目七番地
在留地	トリーバ驛ラスバルマ 耕地
渡航年月日	大正十三年八月廿日
家長	中野鐵城
御方	(三十八才)家族人員五名 の者大正十三年十二月下旬同 地に多額の負債を残し逃亡せ るものなり同人現住所御承知の 御方は何卒御一報被下候
海外與業	株式移民部 Caixa 102-5 São Paulo
◆ 食料品 ◆ 農產物仲買	◆ 雜貨品 ◆ 委托販賣
水 谷 商 店	セ、セザル驛モンソン
◇ 新種物到着	一、ヨーロッパから野菜、花の いろいろな種子が到着致しま し。 一、特にカナリヤ島、亞洲、リオ グランデ種のセボーラやムル シヤ伊太利種アルファニア等 取揃へてあります。 一、商店販賣の種子は總て試驗 済みで發芽確實であります。
大 福 旅 館	Carlos Carradini & Cia R. São Caetano, 42 S. Paulo
齊藤善之助 高橋好位	西北線リソス驛 郵函六二一

